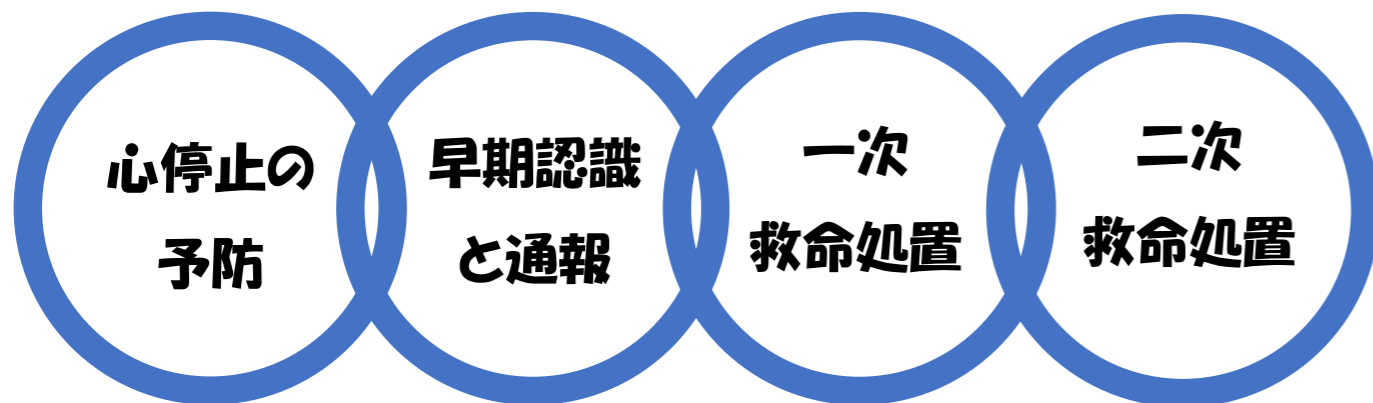


救命の連鎖

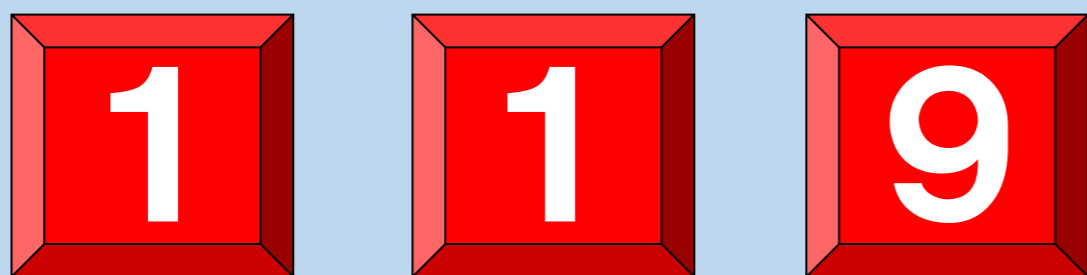


1 心停止の予防



2 早期認識と通報

火事と救急車は



通報は落ち着いて正確に！！

落ち着いて、ゆっくりと、通信指令室員の質問に教えてください。

- ① 「火事」か「救急車」か
- ② 救急車（消防車）が向かう場所はどこか
- ③ どうしたのか
- ④ どのような状態か

○急な病気やケガ等で救急車を呼ぶか病院に行くか迷ったときには

○救急車は必要なく、医療機関を紹介してほしいときには

救急相談ダイヤル

年中無休 / 24 時間

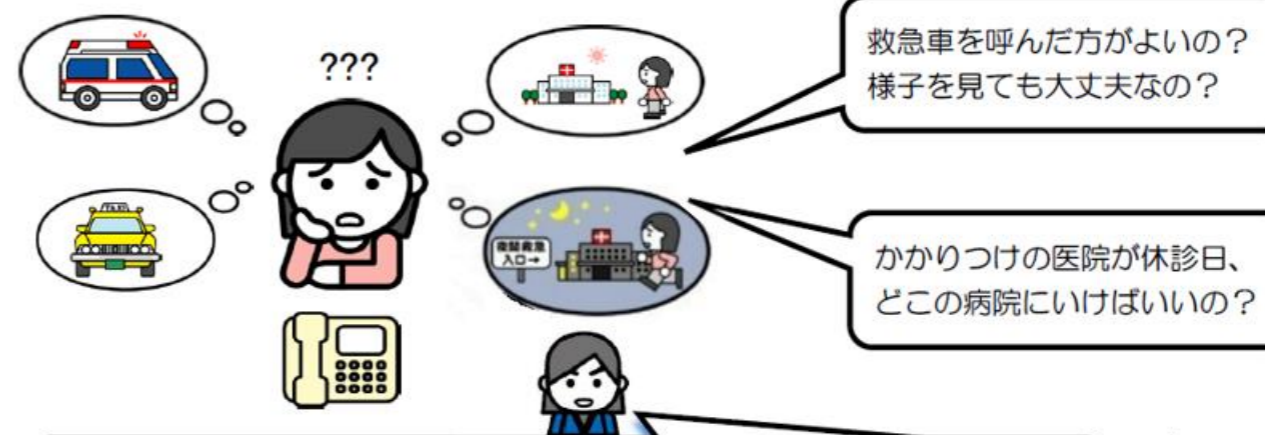


シャープ なな いち いち きゅう

#7119 救急安心センター

急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、今すぐ病院に行った方がいいのか判断や対応に迷う時に電話で相談できるサービスです。

医師、看護師がお話を伺い、病気やケガの状態に応じて案内してくれます。



医師、看護師等が対応します。（相談無料）

つながらない場合は・・・

0739-22-0119(田辺市消防本部)

※緊急時・重症時には迷わず119番へ通報してください。

3 一次救命処置(子ども)

① 安全を確認する



- ・周囲の状況が安全かどうかを確認する。
- ・自分自身の安全を確保することを優先する。

② 反応を確認する



- ・傷病者の肩をやさしくたたきながら大声で呼びかける。
- ・目を開けるなどの応答や目的のある仕草があるか確認する。
- ・反応があるか判断に迷う場合や分からない場合は「反応なし」と判断する。

③ 119番通報をしてAEDを手配する



- ・「誰か来てください！人が倒れています！」などと大声で叫んで応援を呼ぶ。
- ・そばに誰かいる場合は、119番通報を依頼する。
- ・近くにAEDがあれば持ってきてもらう。

④ 普段どおいの呼吸があるか確認する



- ・10秒以内で胸と腹の動きを観察する。
- ・呼吸がないまたは普段どおいの呼吸がないければ胸骨圧迫を開始する。
- ・迷う場合や分からない場合も心停止と判断し、胸骨圧迫を開始する。

⑤ 胸骨圧迫を行う



- ・胸の真ん中(左右の真ん中、上下の真ん中)を30回連続して圧迫する。
- ・胸の厚さの約1/3沈み込む程度に圧迫し、元の位置に戻るまで解除する。
- ・圧迫のテンポは1分間に100回~120回で、絶え間なく圧迫する。
- ・子どもの体が小さく両手では強すぎる場合は片手で行ってもよい。

⑥ 人工呼吸を行う



- ・人工呼吸のやり方を知っていて、人工呼吸を行う意思がある場合に行う。
- ・気道確保(額を押さえながらあごの先を押しあげる)する。
- ・鼻をつまんで、傷病者の口を覆って密着させる。乳児は鼻と口を一緒に覆う。
- ・傷病者の胸が上がる程度の量を1回に1秒かけて2回吹き込む。

⑦ 胸骨圧迫と人工呼吸を繰り返す



- ・胸骨圧迫30回と人工呼吸2回のセットを繰り返す。
- ・反応がでてくるか、救急隊員と交代するまで続ける。

⑧ AEDを装着する



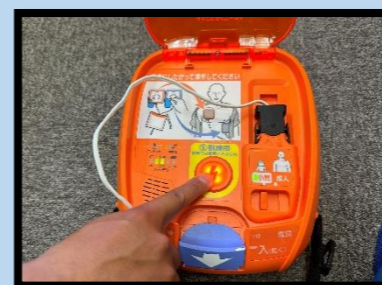
- ・AEDが届いたら電源を入れる(電源ボタンを押す、ふたを開ける)。
- ・「未就学児用モード」に切り替える(未就学児用パッドを使用する)。
- ・基本的に音声メッセージに従って操作する。
- ・電極パッドを胸の右上と左下側に貼り付ける(乳児は胸部と背部に貼る)。

⑨ 解析を行う



- ・解析時は傷病者から離れる(AEDから離れるようメッセージがある)。
- ・電気ショックが必要な場合、AEDは充電を開始する。
- ・電気ショックが不要な場合は、ただちに胸骨圧迫を開始する。

⑩ 電気ショックを行う



- ・傷病者から離れてもらい、触れていないことを確認しショックボタンを押す。
- ・ショックボタンのないオートショックAEDの場合、カウントダウンの後、自動でショックを行うため、音声メッセージに従う。
- ・ショック後、ただちに胸骨圧迫を開始する。
- ・電極パッドは救急隊が到着するまで貼り付けたままにしておく。